

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020150

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	生活環境保全林維持管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	造林木の正常な生長の確保、保健保安林の機能向上		#N/A	
事業目標	生活環境保全林の適正な維持管理 下刈A=42.4ha	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	普通下刈 A=42.4ha 下枝払い 7,800本 ウッドチップ敷設 60㎡	普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本 ウッドチップ敷設 20㎡	普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本 ウッドチップ敷設 20㎡	普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本	普通下刈 A=8.48ha	普通下刈 A=8.48ha ウッドチップ敷設 20㎡		
	事業費(千円)	11,010	2,300	2,474	2,120	2,000	2,116	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0					
		道支出金	0					
		地方債	0					
その他		0						
一般財源	11,010	2,300	2,474	2,120	2,000	2,116		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,789	2,218	2,433	2,119	1,903	2,116	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0					
		道支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	10,789	2,218	2,433	2,119	1,903	2,116		
関 連 事 項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) 普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本 ウッドチップ敷設 20㎡	(実施内容等) 普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本 ウッドチップ敷設 20㎡	(実施内容等) 普通下刈 A=8.48ha 下枝払い 2,600本	(実施内容等) 普通下刈 A=8.48ha	(実施内容等) 普通下刈 A=8.48ha ウッドチップ敷設 20㎡	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	普通下刈 A=8.48ha	普通下刈 A=8.48ha	普通下刈 A=8.48ha	普通下刈 A=8.48ha	普通下刈 A=8.48ha	
		年度達成率		96%	98%	100%	95%	100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		20%	42%	61%	79%	98%
	備考欄							

事業名	生活環境保全林維持管理事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	生活環境保全林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	下刈面積
【抱える課題やニーズは】	林内に雑草が繁茂し、成長した樹木の枝が陽光を遮り、鬱蒼としている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林内の環境の良好な保持と樹木の健全な生育	① 下刈実施面積÷下刈計画面積	目標年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	保健保安林の環境維持、散策などの保健休養林としての利用		実績年度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	維持管理の委託	林内の環境維持を図るため刈払いなどを委託した。	平成29年度
			目標値
			実績値
			達成度
		②	平成29年度
			目標値
			実績値
			達成度
			#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	保健保安林の機能向上と保健休養林として快適な利用ができるよう、林内環境を良好に維持するため、刈払いなどを行う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	林内の環境が良好に維持され、森林の持つ多面的機能の高度発揮に寄与した。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	北海道が示す標準単価を参考にして刈払いなどを委託していることから、コストは妥当であり、必要最小限の内容にしている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

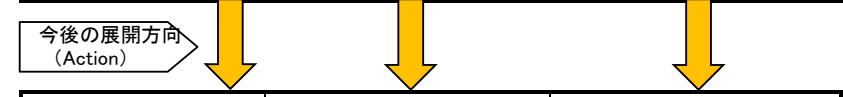
公平	判断の理由	生活環境保全林は誰でも利用することができる。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
生活環境保全林が良好に維持され、森林の持つ多面的機能が高度に発揮されることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
生活環境保全林を快適かつ安全に利用できるよう適切な維持管理を実施することで、保健保安林の機能向上が図られることから、継続して実施すべき事業であり、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止